

## 保小連携研修会・第3回保小連携プログラム公開授業を実施しました！

平成23年秋より実施している保小連携プログラム策定事業において、保小連携研修会(2月5日)及び第3回保小連携プログラム(公開授業)を実施しましたので、その概要についてお知らせします。

### 保小連携研修会の開催

平成24年2月5日(於:西支所4階 西コミュニティセンター第1会議室)に、保小連携の啓発を目的とし、保小連携研修会を実施しました。

当日は、保育関係者のみならず、学校・幼稚園からも多数参加いただき、今年度、保小連携モデル園である八雲保育園・由良川小学校、岡田保育園から実践発表や、鳴門教育大学大学院の木下光二教授の講演を通じ、保小連携の魅力や意義について理解を深めました。

### 保小連携研修会の概要

#### 1. 八雲保育園・由良川小学校 実践発表

「つながりと共生 ～子どもたちの笑顔と豊かな学びを求めて～」

発表者：由良川小学校 山田 あさ 教諭

八雲保育園 迫田 顕子 保育士

・平成23年度のつながり活動について、映像を交えながら発表していただき、子どもたちが生き生きと取り組んでいる様子が伝わりました。また、1年生と5歳児が互いに自己発揮しながら自然に関わりあう様子が良くわかるものでした。

#### 2. 岡田保育園・岡田小学校 2月6日の公開保育について

「小学校と保育園の連携・接続～地域と共に仲良く、繋がる、岡田っ子～」

発表者：岡田保育園 北川 三和子 園長

・地域性を大切にされた食育の取り組みや、地域との繋がりに重点を置いた活動について。また、1年生のみならず、様々な学年との繋がりの中での触れ合い活動についての報告をいただくとともに、翌日(2月6日)の公開保育の予告をしていただきました。

#### 3. 講演会 「舞鶴における保幼小連携について」

講師：鳴門教育大学大学院教授 木下 光二 氏

・幼児期教育と小学校教育の違いを知り、発達や成長の道筋を明らかにすることが大切。

・保幼小連携のキーワード(PPCC)が大切。

P：プリンシパル・・・管理職

P：パートナー・・・良きパートナー

C：カリキュラム・・・既存のカリキュラム

C：コミュニティ・・・縦横の連携

・人と人を繋げる、人と知識を繋げる、知識と知識を繋げる。

・学びを繋げる、学ぶ楽しさを繋げる、学ぶべき内容を必然的に繋げる。

など、鳴門教育大学付属幼稚園時代の経験を交え、保小連携の魅力や実施にあたってのポイントについて講演いただきました。



※写真は全て2月5日  
(於:西コミュニティセンター)



### 第3回保小連携公開授業を実施

2月6日に、木下教授をアドバイザーに迎え、岡田保育園・岡田小学校による第3回保小連携プログラム(公開授業)を実施しました。

岡田保育園と岡田小学校は、地域とのつながりや地域の特色を生かした食育に取り組むなど、1年生のみに留まらず、園児と全学年の児童が、様々なふれあいを楽しむ活動を経験しています。

#### 第3回 公開授業(2月6日、岡田保育園)の概要

##### (1)保小連携カリキュラム

###### ①単元名

「手作り味噌で 仲良くッキング！」

###### ②単元のねらい

- ・自分たちが作った味噌を使って調理し食べることにより、手作り食品の良さや伝統的な食品作りのすばらしさに気付くことができる。
- ・小学校児童と保育園児が協力しながら活動し交流する中で、コミュニケーションの幅を広げ、よりよい人間関係をつくることできる。

###### ③指導計画

1次1時 味噌料理交流について知り、計画を立てる。

2次2・3時 味噌料理を協力して作り、交流を図る。

###### ④4時時の目標

###### 【年長児】

- ・1年生と協力して、進んで味噌料理づくりに取り組むことができる。
- ・体験した感想をみんなの前で発表することができる。

###### 【1年生】

- ・年長児と意欲的にコミュニケーションをとりながら協力して味噌料理を作ることができる。
- ・味噌料理や伝統的な食品づくりのよさに気付くことができる。

##### (2)木下教授の講評

- ・岡田保育園は、子どもを中心に先生方がそれに寄り添って保育が展開されすごく素敵だった。
- ・保育園と小学校との繋がりもお互いの先生方が信頼し合い、またここ1、2年のものではなく昔から続いており、どこよりも先駆けて連携に取り組まれていることは申し分ない。
- ・今日の活動の中で、学びの部分というものをどう見取っていくか、育てていくかどうかがポイントで、自然体に保育園がありのままの姿で、小学校もありのままの姿で、その中で何が生れていくかが大事。
- ・普段のままでお互いが寄り添いあって、困ってもトラブルが起こってもいいし、その状況をどう子ども達の知恵や工夫でよりよいものにしていくかが大事。

##### (3)参加者の声

- ・小学校の先生と保育士仲良くされていることが伝わり、日頃の地域の中での連携が繁栄されていると感じた。
- ・みその開封ではオーバーなくらいのリアクションや、その場ですぐに食べてみることで、その後の豚汁作りへの期待が高まったように思う。
- ・時間の都合もあり、年長児がいつものクッキングよりも経験が少なかったことなど、連携活動の中での役割分担など、ねらいの視点をどこにあてるかなどの難しさを感じた。
- ・お互いが子どもの育ちや学びを見つめ合いPDCAを見直し、しっかり話し合いを積み重ねていくことが大切なんだと学ばせて頂いた。



※写真は全て2月6日  
(於：岡田保育園)



### 今後の予定

次回の保小連携プログラム公開授業は、中保育所・中舞鶴小学校(平成24年3月15日)で実施します。今年度最後の公開授業です。みなさんのご参加お待ちしております。  
詳しくは子ども育成課(北川・西)まで。

感想やご意見をお気軽にお寄せください。  
舞鶴市子ども育成課  
Tel (0773-66-1009)  
Fax (0773-62-7957)  
mail (k-ikusei@post.city.maizuru.kyoto.jp)